

編集後記

先日、政府は2020年の温室効果ガス削減の中期目標を15%減に決定しました。既に我が国は国際的に見て高度な省エネ国家にあります。温室効果ガスのさらなる削減は、他国に比べ多大なコストを要することから、この削減目標の設定にあたっては政府と経済界の考えに大きな隔たりがあったことも報じられました。

今月号の特集テーマは「都市環境の整備向上」です。「CO₂排出量削減」

は今月号の中でも大きなキーワードになっています。この問題に対しては、官と民が協力して取り組むことが重要かつ効果的であることが分かります。幸いにも建設業界は行政と協力してこの問題に取り組める環境にあります。

ポスト京都において日本が主導的立場となるためにも、国内的には建設業界がリーダーシップをとってこの問題に取り組んでいくことが重要ではないでしょうか。

(藤田・高木)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員

森川 博邦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
宮崎 貴志	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
齊藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
宮路 勝善	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤田 一宏	施工技術総合研究所

8月号「建設施工の安全対策」予告

- ・足場等の墜落防止措置等の充実を目的とする労働安全衛生規則の改正
- ・油圧ショベルの転倒時保護構造 (ROPS) (ISO12117-2) ー日本発信の国際規格に至るまでー
- ・アクセスシステム規格の改訂動向 (ISO 2867 改訂)
- ・バックアップアラームの車載試験方法 (ISO9533) 改訂について
- ・山岳トンネル機械の事故事例及びヒヤリ・ハットに関する報告書
- ・トンネル機械での事故事例及びヒヤリ・ハットに関する報告書
- ・シティコンシャスクレーン『PANTHER-X 250』によってもたらされる安全効果
- ・保護具の安全対策
- ・レンタルで活用できる安全対策機器
- ・エレクター・ジャンボコンクリート吹付システムの安全対策
- ・建設機械のアラウンドビューモニターの現場検証結果

No.713 「建設の施工企画」 2009年7月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成21年7月20日印刷

平成21年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322